

### 3 千葉市農業推進行動計画・進行管理票(27年度)

#### 柱1 新鮮で安全安心な農畜産物の安定供給

##### 1 生産性の向上

##### 施策1－営農指導の充実 主担当:農業生産振興課

数 値 目 標	現 状 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達 成 率
(1) 営農指導巡回回数	291回/年	698回/年			420回/年	166.2%
主 要 事 業	27年度の取組状況			評 価	28年度以降の取組内容	
1 生産現場における課題解決の迅速化  <計画期間の取組内容> 現場での営農指導による課題解決の迅速化を図るため、専任アドバイザーを設置します。	㊦特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)㊦ ・日々生じる多種多様な課題に対して、迅速に対応したことにより、計画よりも多くの指導を実施することができた。 ・専任アドバイザーによる土壌の物理性診断と技術指導により、キャベツとニンジンの生産性の向上が図られた。			A	㊦課題(Cの場合)㊦	
	㊦取組状況 ・生産者からの病害虫指導等の要請に対し迅速に対応した。 ・生産現場において、専任アドバイザーによる土壌の物理性診断を行った。 ①物理性診断 計31箇所 ・専任アドバイザーによる実地研修(職員向け)を行った。 ①実地研修 計6回				㊦取組内容 ・生産者からの要請に対し迅速に対応する。 ・今後も専任アドバイザーによる土壌の物理性診断を行う。 ・職員のレベルアップを図るため、専任アドバイザーによる土壌の物理性診断に係る実地研修や、職員向けの講習会を行う。	
2 計画的な農家への巡回指導  <計画期間の取組内容> 農家が抱える問題を解決し、生産性の向上を図るため、毎年営農指導計画書を作成し、計画的に営農指導を実施します。	㊦取組状況 ・平成27年度営農指導計画を策定し、計画的に営農指導を実施した。			B	㊦取組内容 ・平成28年度営農指導計画を策定し、計画的に営農指導を実施する。	

施策2－技術開発の推進 主担当:農業生産振興課

数値目標	現状 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(2) 新規種苗供給品目数	—	0品目			2品目	0.0%
主要事業	27年度の取組状況			評価	28年度以降の取組内容	
3 優良後継牛の確保支援  <計画期間の取組内容> 乳牛の生乳生産性を向上させるため、性判別精液や受精卵の活用による優良後継牛の確保支援を行います。	<b>特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)</b> ・優良後継牛確保対策事業（新規）の周知が不足し、本事業を活用する酪農家が少なかった。			C	<b>課題(Cの場合)</b> ・優良後継牛確保対策事業のさらなる周知を行う。 ・事業目的の丁寧な説明と事業の活用推進を行う。	
	<b>取組状況</b> ・優良後継牛確保対策事業により性判別精液の購入を支援した。 ①支援した酪農家数 5戸 （補助対象酪農家数 40戸） ・優良後継牛確保対策事業の周知を図った。 ①周知 8月、3月（文書による）				<b>取組内容</b> ・優良後継牛確保対策事業により性判別精液と受精卵の購入を支援する。 ・優良後継牛確保対策事業の周知を図る。 ①周知 通年（文書及び巡回） ・優良後継牛の確保状況を把握する。	
4 農業経営に有望となる種苗の供給  <計画期間の取組内容> 千葉市での農業経営に適した農作物の種苗を供給するため、大学と協力し、優良な種苗の開発を推進します。	<b>取組状況</b> ・東京農業大学と連携のもと新たな種苗供給品目（ニンニク）の開発に向けた組織培養研究を委託し、種球を短期間に大量増殖するための手法や、効率的なウイルスフリー化の検定方法等が示された。 ・本市での栽培に適したイチゴ・ワケネギ等の系統の供給を行い、経営の安定や産地化を図った。 ①供給品目数 7品目 28系統			B	<b>取組内容</b> ・生産状況の変化を検証し、生産者のニーズに合わせ、供給するニンニクの系統の選抜や、増殖方法、供給体制を検討・確立する。 ・本市での栽培に適したイチゴ・ワケネギ等の系統の供給を行い、経営の安定や産地化を図る。 ①供給品目数 5品目 9系統	

施策3－生産コストの低減 主担当:農業生産振興課

主要事業	27年度の取組状況		評価	28年度以降の取組内容	
5 生産近代化機械施設の整備促進  <計画期間の取組内容> 生産性の高い農業経営を確立し、エンジンなどの主要品目の産地を維持するため、認定農業者や生産組合等に対する機械施設整備を促進します。	<b>取組状況</b> ・エンジン選別機、ワケネギ定植機、ワケネギ防除器など省力化機械を導入した。 ①省力化機械導入 4経営体 ・省エネルギー対策としてヒートポンプを導入した。 ②ヒートポンプ導入 1経営体		B	<b>取組内容</b> ・乗用管理機、収穫機、防除機などの省力化機械の導入を促進する。 ・イチゴの高設栽培施設やトマトの養液栽培施設を導入し、生産の効率化および省力化を図る。	

施策4—計画的な生産出荷体制の整備 主担当：農業生産振興課

数値目標	現状 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(3) トマト施設栽培農家戸数	19戸 (23,678㎡)	19戸 (24,830㎡)			21戸 (25,678㎡)	90.5% (96.7%)
(4) イチゴ高設栽培農家戸数	15戸 (26,268㎡)	16戸 (26,928㎡)			17戸 (28,268㎡)	94.1% (95.3%)
主要事業	27年度の取組状況			評価	28年度以降の取組内容	
<p>6 イチゴ・トマトを主軸とした生産支援</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 千葉市の都市農業を特色あるものにするため、イチゴとトマトを主軸とした生産技術支援を強化します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イチゴ新品种「かおり野」について、土耕による定植適期や高設栽培による栽植密度に関する試験栽培を行った。</li> <li>・大玉トマトおよびミニトマトについて、みかど協和(株)と連携し、養液土耕栽培による品種比較試験を行った。</li> </ul> <p>①大玉トマト比較品種数 6品種 ②ミニトマト比較品種数 6品種</p>			B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イチゴについて、千葉県育成の新品种「千葉S4号」の育苗方法に関する試験栽培を行う。</li> <li>・大玉トマトおよびミニトマトについて、近年市内農家での導入が進んでいる、隔離された少量の土だけで栽培し、土壌病害の被害を防止できる「隔離床栽培」による品種比較試験栽培を行い、本市に適した品種を選定していく。当試験栽培においては、引き続きみかど協和(株)と連携し実施する。</li> </ul> <p>①大玉トマト比較品種数 6品種 ②ミニトマト比較品種数 6品種</p>	

施策5—価格安定化対策の推進 主担当：農業生産振興課

主要事業	27年度の取組状況	評価	28年度以降の取組内容
<p>7 千葉市野菜価格安定対策事業の実施</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 農業経営の安定と生産意欲の向上を図り、市内市場に新鮮な野菜を計画的に供給するため、野菜価格が低落した時、千葉市野菜価格安定対策協議会に対し、補償金を交付します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市野菜価格安定対策協議会が農業者に対して支払う補償金、並びに、国や県の野菜価格安定対策制度に参加する生産者の参加負担金に対して助成した。</li> </ul> <p>①千葉市野菜価格安定対策 16品目（イチゴ他） ②野菜生産出荷安定 6品目（春夏ニンジン他）</p>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市野菜価格安定対策協議会が農業者に対して支払う補償金、並びに、国や県の野菜価格安定対策制度に参加する生産者の参加負担金に対して助成する。</li> </ul> <p>①千葉市野菜価格安定対策 16品目（イチゴ他） ②野菜生産出荷安定 6品目（春夏ニンジン他）</p>

施策6—適切な肥培管理の推進 主担当：農業生産振興課

主要事業	27年度の取組状況	評価	28年度以降の取組内容
<p>8 土壌診断による施肥設計の作成支援</p> <p>(計画期間の取組内容) 過不足のない適正な施肥による生産性の向上を推進するため、農家の土壌診断を活用した施肥設計の作成を支援します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者に対して、土壌診断を活用した施肥設計の作成を支援した。</li> </ul> <p>①土壌診断 629検体 ②養液診断 459検体 ③堆肥 3検体 合計 1,091検体</p>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者に対して、土壌診断を活用した施肥設計の作成を支援する。</li> </ul> <p>①土壌診断 795検体 ②養液診断 445検体 ③堆肥等 60検体 合計 1,300検体</p>

## 2 地産地消の推進

### 施策7－市内産農畜産物の販売機会の創出 主担当：農政課

数 値 目 標	現 状 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達 成 率
(5) 市内産農畜産物取扱店舗数 (地産地消推進店登録数)	63店舗 —	66店舗 (0件)			83店舗 (20件)	79.5% (0.0%)
(6) 地場産品レストラン認定数	—	0件			2件	0.0%
主 要 事 業	27年度の取組状況			評 価	28年度以降の取組内容	
9 多様な販売ルートの確立  <計画期間の取組内容> 多様な販売ルートを確立するため、販売店やレストラン等との交流会・産地見学会等を行うとともに、地産地消推進店登録制度等を創設します。	<b>取組状況</b> ・市内飲食店を対象とした産地見学会、意見交換会を実施し、マッチングにつなげることで販売ルートを拡大した。 ①マッチング数 飲食店6店、農家6戸 ・幼稚園でのふれあい市を開始した。 ①開催回数 2箇所			B	<b>取組内容</b> ・産地見学会、意見交換会で明確になった、流通の課題解決のための実験事業に取り組み、マッチングを拡大する。 ・マッチングした店舗を対象とした地産地消推進店登録制度の創設を目指す。(H29年度) ・幼稚園ふれあい市に参加する農業者を増やし、開催回数を拡大する。	

### 施策8－学校給食での市内産農畜産物の利用拡大 主担当：農政課

主 要 事 業	27年度の取組状況	評 価	28年度以降の取組内容
10 学校給食等での利用拡大  <計画期間の取組内容> 市内産農産物の利用拡大を図るため、小中学校や保育所等の給食に食材を供給するとともに、料理講習会を開催します。	<b>取組状況</b> ・教育委員会、JA千葉みらい、千葉青果(株)等の関係機関や団体と新たな品目の導入可能性を検討した。 ・生産者と調整を行い、9品目を導入した。(ニンジン、キャベツ、コマツナなど) ・市内農産物を活用した料理講習会を実施した。 ①料理講習会実施回数 5回	B	<b>取組内容</b> ・関係機関と連携し、市内産農産物の給食への導入に取り組む。(8品目) ・市内農産物を活用した料理講習会を実施する。 ①料理講習会実施回数 2回

### 施策9－食と農の理解の促進 主担当：農政課

主 要 事 業	27年度の取組状況	評 価	28年度以降の取組内容
11 出張授業・地産地消キャンペーンの実施  <計画期間の取組内容> 市内産農産物や農業に対する理解促進と、消費拡大を推進するため、小学校での生産者出張授業や地産地消キャンペーンを実施します。	<b>取組状況</b> ・小学3年生を対象に、小学校5校で5品目出張授業を実施した。 ①春夏ニンジン 6月 ②牛乳 9月 ③キャベツ 11月 ④コマツナ 12月 ⑤秋冬ニンジン 1月 ・出張授業で使用する資料を改正し、地産地消の取り組みを盛り込んだ。 ・市内産農産物のPRや展示販売等地産地消キャンペーンを実施した。 ①地産地消キャンペーン 14回	B	<b>取組内容</b> ・小学3年生を対象に出張授業を5校で実施する。 ・学校給食への市内産農産物導入の取り組み10周年を記念しPRする。 ・市内産農産物のPRや展示販売等地産地消キャンペーンを実施する。 ①地産地消キャンペーン 9回

施策10—食の安全と消費者の信頼の確保 主担当:農政課

数 値 目 標	現 状 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達 成 率
(7) 千葉県産農産物生産者認証者数	182人	184人			200人	92.0%
主 要 事 業	27年度の取組状況			評 価	28年度以降の取組内容	
12 千葉県産農産物生産者認証制度の充実  <計画期間の取組内容> 生産者と消費者の顔の見える農業を実現するため、直売志向の生産者への認証(新規及び再認証)を推進するとともに、認証者へのシンボルマークの貼付啓発と消費者へのPRにより認知度向上を図ります。	<b>取組状況</b> ・認証者を対象にした講習会に新規就農者等の出席も働きかけ普及啓発を行った。 ①認証者数 184人(再認証10人) ②認証者のうち新規就農者数 10人			B	<b>取組内容</b> ・直売所・インショップへの出荷者及び新規就農者を中心に認証候補者の情報収集を行うとともに、普及啓発を行い、新規認証を増やす。 ・更新時期を迎えた認証者については、継続を働きかけ、再認証へ誘導する。 ①目標認証者数 195人	

# ■千葉市農業推進行動計画・進管理票(27年度)

## 柱2 安定した農業経営体の育成

### 3 優良農地の確保と有効利用

#### 施策11－優良農地の適正管理 主担当:農政課

主要事業	27年度の実施状況	評価	28年度以降の実施内容
<p>13 農業振興地域制度の周知</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 農業振興地域内の農用地区域の保全を図るため、パンフレット等で農業振興地域制度の周知を行います。</p>	<p>△実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>窓口に来課及び電話で問い合わせのあった事業者等に対して、パンフレット及び口頭で制度の説明を行った。</li> <li>市政だより(9/15号)に制度の概要を掲載した。</li> <li>関係部署(宅地課等)と連携し、文書により事業者への周知を行った。</li> </ul>	B	<p>△実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農用地区域での開発を計画する事業者等にパンフレット等により制度の説明を行う。</li> <li>農用地区域の除外について、除外要件や手続きの流れをわかりやすく示したパンフレットを作成する。</li> </ul>

#### 施策12－生産基盤の整備 主担当:農政課、農業生産振興課

主要事業	27年度の実施状況	評価	28年度以降の実施内容
<p>14 農業用排水対策事業の推進</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 農業経営の安定化を図るため、北総中央用水の利活用を推進します。また農業生産性の向上のため、土地改良区等に対して井戸揚水機の電気料を補助します。</p>	<p>△実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北総中央用水の利活用の推進を実施した。</li> <li>①地元との懇談会等 8回</li> <li>②用水計画再検討業務 2,193千円</li> <li>井戸ポンプの電気料を一部助成した。</li> <li>①対象団体数 35団体</li> <li>②補助金額 7,109千円</li> </ul>	B	<p>△実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北総中央用水の利活用の推進を実施する。</li> <li>①地元との懇談会等 4回</li> <li>②基本計画検討業務 4,500千円</li> <li>井戸ポンプの電気料を一部助成する。</li> <li>①対象団体数 35団体</li> <li>②補助金額 7,109千円</li> </ul>
<p>15 農道舗装整備の推進</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 農業生産性の向上と農村生活環境の改善を図るため、緑農住区開発関連土地盤整備事業による道路の舗装整備を行うとともに、農業用道路の舗装整備を行います。</p>	<p>△実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農道の舗装整備を実施した。</li> <li>①整備箇所 2箇所(緑区板倉町、小食土町)</li> <li>②整備延長 325m</li> <li>緑農住区の道路整備を実施した。</li> <li>①整備延長 68m</li> </ul>	B	<p>△実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農道の舗装整備を実施する。</li> <li>①整備箇所 1箇所(若葉区高根町)</li> <li>②整備延長 250m</li> <li>緑農住区の道路整備を実施する。</li> <li>①整備延長 30m</li> <li>②その他の整備 ボックスカルバート敷設 1箇所</li> </ul>

#### 施策13－農地の集積と活用の促進 主担当:農政課

主要事業	27年度の実施状況	評価	28年度以降の実施内容
<p>16 利用権設定者に対する支援</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 農地の利用集積を促進するため、利用権が設定された農地の貸付者、借受者に対して補助金を交付します。</p>	<p>△実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業経営基盤強化促進法に基づく農地の賃借について、期間や面積に応じて助成した。</li> <li>①件数 21件</li> <li>②対象面積 10.4ha</li> </ul>	B	<p>△実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレットにより事業を周知し、農業経営基盤強化促進法に基づく農地の賃借について助成する。</li> </ul>

施策14－耕作放棄地の解消と利活用の推進 主担当：農政課、農業生産振興課

数 値 目 標	現 状 (28年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達 成 率
(8) 営農再開面積	6.0ha	7.4ha			8.8ha	84.1%
主 要 事 業	27年度の取組状況			評 価	28年度以降の取組内容	
17 耕作放棄地の未然防止と利用促進  ＜計画期間の取組内容＞ 耕作放棄地の未然防止及び解消を促進するため、大型草刈機の貸し出しを実施することにより農地の保全や適性利用を進めるとともに、遊休農地情報を公表し、利用希望者とのマッチングを行います。	<b>取組状況</b> ・耕作希望者に耕作放棄地の情報を提供し、「耕作放棄地整備事業」を活用して再生利用を促進した。 ①解消件数 2件 ②解消面積 0.7ha ・未然防止のため大型草刈機を更新した。			B	<b>取組内容</b> ・関係機関で組織する「地域農業振興部会」によりマッチングにつながる情報を収集する。 ・市の補助事業等を活用し再生利用を促進する。 ①解消面積 0.7ha	

4 意欲ある担い手の確保・育成

施策15－認定農業者の育成 主担当：農業経営支援課、農業生産振興課

数 値 目 標	現 状 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達 成 率
(9) 新規認定農業者数	6経営体/年	3経営体/年			10経営体/年	30.0%
主 要 事 業	27年度の取組状況			評 価	28年度以降の取組内容	
18 農業経営改善計画の作成・達成支援  ＜計画期間の取組内容＞ 農業経営を改善するため、農業経営改善計画の作成を支援するとともに、計画達成に向け生産技術・経営管理の指導を行います。また、新規就農者や新規参入法人向け相談会の開催や広報誌を活用した制度の周知を行います。	<b>特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合)</b> ・農業従事者の高齢化等により認定志向農業者と成り得る経営体が少ない。  <b>取組状況</b> ・認定志向農業者と既認定者の農業経営改善計画書の作成を支援した。 ①計画書作成支援 33経営体 ・「新たな農業経営指標」に基づく自己チェックの普及に努めた。			C	<b>課題(Cの場合)</b> ・関係機関との連携を密にし、認定志向農業者の発掘に努める。 ・認定可能な水準に達していると見込まれる新規就農研修修了者等に対し、積極的に働きかける。	
<b>取組内容</b> ・認定志向農業者と既認定者の農業経営改善計画書の作成を支援する。 ①計画書作成支援 40経営体 ・「新たな農業経営指標」に基づく自己チェックの普及に努める。 ・新規参入を希望する法人の相談内容に応じて、法人等農業参入支援会議を開催する。						

施策16—新たな担い手の確保・育成 主担当:農業経営支援課

数値目標	現状 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(10) 新規就農者数	7人/年	2人/年			10人/年	20.0%
(11) 後継者向け研修の受講者数	65人	89人			117人	76.1%
(12) 「人・農地プラン」策定地区数 (中心経営体数)	3地区 (16経営体)	3地区 (22経営体)			13地区 (27経営体)	23.1% 81.5%
(13) 農業版ハローワーク雇用・ボランティア成立件数	358件	384件			398件	96.5%
主要事業	27年度の取組状況			評価	28年度以降の取組内容	
19 「人・農地プラン」による地域農業の活性化  <計画期間の取組内容> 担い手不足や耕作放棄地の増加など、地域における人と農地の問題を解決するため、「人・農地プラン」の細分化とともに、農地中間管理事業等を活用し、地域農業の活性化を推進します。	<b>取組状況</b> ・本市の「人・農地プラン」の細分化方針を確定した。 ・「人・農地プラン」の概要について、土地改良区等を対象に説明した。 ①説明会開催回数 5回 ・緑区において、新たに地域の中心となる経営体を位置付けた。 ①中心経営体(新規) 3経営体			B	<b>取組内容</b> ・地域特性を活かした土地利用計画により、「策定地域」内において細分化した地区設定を積極的に進め、地域の安定した経営に資するプランづくりを目指す。 ・新たな地域の中心となる経営体の追加を推進する。	
20 新規就農者等の確保・育成  <計画期間の取組内容> 農業の担い手を確保・育成するため、新規就農希望者や定年帰農者、農家で働きたい人に対し、研修や営農指導等を行うとともに、農業後継者に対し支援します。	<b>特記事項(Aの場合)、問題点(Cの場合)</b> ・研修制度や就農相談等により新規就農者の確保と育成に努めているが、就農希望者が少ない状況が続いている。				C	<b>課題(Cの場合)</b> ・県内外の農業系大学に就農制度をPRし、新規就農者の確保に努める。 ・研修カリキュラムの内容の充実を図り、新規就農者等の確保・育成に努める。
	<b>取組状況</b> ・新規就農希望者研修や営農指導等により新規就農者等の確保と支援を行った。 ①研修受講者数 7人 (1年目2人、2年目4人、3年目1人) ②巡回指導 5回 ・青年就農給付金を給付した。 ①給付人数 15人 ②給付総額 900万円					<b>取組内容</b> ・新規就農希望者研修や営農指導等による新規就農者等の確保と支援を行う。 ①研修受講者数 10人 (1年目5人、2年目1人、3年目4人) ②巡回指導 12回 ・青年就農給付金を給付する。 ①給付人数 19人 ②給付総額 2,700万円

施策17—「家族経営協定」の推進 主担当:農業経営支援課

数値目標	現状 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(14) 家族経営協定締結件数	20件	23件			28件	82.1%
主要事業	27年度の取組状況			評価	28年度以降の取組内容	
21 家族経営協定の普及  <計画期間の取組内容> 女性農業者や後継者の経営参画のため、家族経営協定を普及します。	<b>取組状況</b> ・女性農業者や後継者の経営参画のため、関係機関と連携し、家族経営協定の締結に結びつけた。 ①新規締結件数 1件			B	<b>取組内容</b> ・女性農業者や後継者の経営参画を促進するため、引き続き関係機関と連携し、家族経営協定の普及を推進する。 ①新規締結件数 2件	



施策18－農業経営体の法人化への推進 主担当:農業経営支援課

主要事業	27年度の実績	評価	28年度以降の取組内容
<p>22 認定農業者等の法人化への誘導</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 認定農業者等の法人化を推進するため、関係機関と連携し講習会を開催するなど法人化を促進します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認定農業者や農業後継者を対象に、農業部門に関わる企業の担当者を講師に招き、講習会を開催した。</li> <li>①講習会開催数 1回(3月)</li> <li>②法人化数(新規) 2経営体</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員会や県農業会議と連携し、認定農業者等の法人化を支援する。</li> <li>①講習会開催数 1回</li> </ul>

5 農家所得の向上

施策19－6次産業化の推進 主担当:農政課

数値目標	現状(25年度末)	実績(27年度)	実績(28年度)	実績(29年度)	目標(29年度)	達成率
(15) 6次産業化の認定件数	2件	3件			4件	75.0%
主要事業	27年度の実績		評価	28年度以降の取組内容		
<p>23 6次産業化の支援</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 6次産業化を目指す生産者の計画策定及び計画達成のため、認定志向農業者への巡回指導や、関係機関との連携により情報提供等の支援を行います。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6次産業化の取り組み意向のある農家に、サポーター派遣をした。</li> <li>①サポーター派遣回数 2回</li> <li>②県の6次産業化サポートセンターと情報を共有し、取組を支援するため交付金制度を活用できるよう支援した。</li> </ul>		B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県と情報共有し計画の見直しを含めた検討等、6次産業化認定者の取り組みを支援する。</li> <li>認定志向農業者への巡回指導やサポーター派遣等の支援をする。</li> </ul>		

施策20－販路拡大の支援 主担当:農政課

主要事業	27年度の実績	評価	28年度以降の取組内容
<p>24 トップセールス等の活用</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 市内はもとより、市外・県外への情報発信により販路拡大を推進するため、トップセールスを活用します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ラッカセイ、イチゴについて作物の季節に合わせ、トップセールスを行った。</li> <li>①生ラッカセイ 9月</li> <li>②イチゴ 1月</li> <li>ツイッターの活用によりPR効果を高めた。</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本市の農産物を市内外へPRするため、季節に合わせトップセールスを行う。</li> </ul>

施策21－千葉市ブランドの確立 主担当:農政課

主要事業	27年度の実績	評価	28年度以降の取組内容
<p>25 加工品開発及びブランド化の支援</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 伝統野菜等の発掘を行い、ブランド化を図るため、加工・販売等について支援します。</p>	<p>取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統野菜の土気カラシナの漬物加工品を、消費者の声を反映し、規格を変更した。</li> <li>土気カラシナについて積極的に情報発信した。</li> <li>土気カラシナの漬物教室を1回開催した。</li> <li>民間事業者が実施する土気カラシナの漬物教室を支援した。</li> <li>①漬物教室(民間事業者主催) 1回</li> </ul>	B	<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土気カラシナの活用を広げるため、マスタードシードとしての種子の販売について検討する。</li> <li>市民の関心の高まりに応じて、土気カラシナに関する教室やイベントを、地域の施設や団体が行えるよう支援する。</li> </ul>

## 6 環境にやさしい農業の推進

### 施策22－健全な土づくりの推進 担当: 農業生産振興課

主要事業	27年度の実施状況	評価	28年度以降の実施内容
<p>26 環境保全型農業の取組への支援</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 農業分野の地球温暖化防止や生物多様性保全のため、事業に取組む農家に対し、交付金により支援します。</p>	<p>☞実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国の環境保全型農業直接支払対策事業への支援を行った。</li> <li>農業用廃プラスチックの円滑な回収および適正な処理を行った。</li> </ul> <p>①直接支払取組面積 554a ②廃プラ処理量 24.7t</p>	B	<p>☞実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国の環境保全型農業直接支払対策事業への支援を行う。</li> <li>農業用廃プラスチックの円滑な回収および適正な処理を行う。</li> </ul> <p>①直接支払取組面積 596a ②廃プラ処理量 25.1t</p>
<p>27 土壌診断の充実</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 土壌診断を充実させ、健全な土づくりを推進するため、診断の迅速化と精度向上を図ります。</p>	<p>☞実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土壌診断を充実するため、超純水製造装置の導入整備を行った。</li> <li>分析の作業手順の見直し、診断の精度向上と迅速化を図った。</li> </ul>	B	<p>☞実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土壌診断を充実するため、リン酸分光光度計やEC/PH計の導入整備を行う。</li> <li>分析の作業手順を見直し、診断の精度向上と迅速化を図る。</li> </ul>

### 施策23－家畜排せつ物の適切な管理 担当: 農業生産振興課

主要事業	27年度の実施状況	評価	28年度以降の実施内容
<p>28 家畜排せつ物処理状況の巡回指導</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 家畜排せつ物の適正処理を推進するため、畜産農家に対し、排せつ物処理状況の巡回指導を実施します。</p>	<p>☞実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>処理状況の巡回指導を実施した。</li> </ul> <p>①巡回 通年 ②注意喚起文書を全畜産農家に通知し、家畜排せつ物の不適切処理の防止を指導した。 ③通知 10月</p>	B	<p>☞実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家畜排せつ物処理状況の巡回指導を実施する。</li> </ul> <p>①巡回 通年</p>

### 施策24－堆肥の有効利用 担当: 農業生産振興課

主要事業	27年度の実施状況	評価	28年度以降の実施内容
<p>29 耕畜連携による堆肥利用の促進</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 堆肥の有効利用を推進するため、耕種農家に対し、家畜堆肥の情報を提供し利用を促進します。</p>	<p>☞実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家畜ふん堆肥の利用状況を確認し、堆肥利用希望農家に対し情報提供を行った。</li> </ul> <p>①情報提供 通年</p>	B	<p>☞実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家畜ふん堆肥の利用状況を確認し、巡回指導を通じて耕種農家に情報提供する。</li> </ul> <p>①情報提供 通年</p>

施策25－減農薬の推進 主担当:農業生産振興課

主要事業	27年度の実施状況	評価	28年度以降の実施内容
<p>30 大学との天敵の共同研究</p> <p>&lt;計画期間の実施内容&gt; 減農薬を推進するため、市内の土着天敵を調査し、有効活用について大学と共同研究を実施します。</p>	<p>☞<b>実施状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度に実施した千葉大学との共同研究の成果に基づき、農政センターの周辺において、天敵の生育調査を行い、より有効な天敵昆虫を探索した。</li> </ul>	<p>B</p>	<p>☞<b>実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉大学と連携を図り、市内の生産圃場も含めて天敵昆虫の生育調査を行う。</li> <li>より有効な天敵昆虫を探索し、導入の可能性について模索する。</li> </ul>

# ■千葉市農業推進行動計画・進行管理票(27年度)

## 柱3 農村と森林の持つ多面的機能の活用

### 7 都市と農村の交流促進

#### 施策26-いずみグリーンビレッジ事業の推進 主担当:農業経営支援課

数値目標	現状 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(16) 都市農業交流センター来訪者数	171,048人/年	190,876人/年			190,000人/年	100.5%
主要事業	27年度の取組状況			評価	28年度以降の取組内容	
31 いずみグリーンビレッジ構想の拠点地域の活性化  <計画期間の取組内容> いずみ地区の更なる活性化を図るため、3拠点が連携したPR活動を行うとともに、地域資源を活用した新たな活性化策に取り組みます。	<b>特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)</b> ・イベントや体験教室の開催、市政だよりや市ホームページを活用したPRにより各拠点施設が認知され、来訪者数の目標を上回った。 ①市政だよりでの掲載記事数 13件 ②市ホームページの更新回数 14回			A	<b>課題(Cの場合)</b>	
	<b>取組状況</b> ・いずみ地区の3拠点施設の連絡会議を開催した。 ①連絡会議開催数 2回(7月、3月) ・野呂地区において泉自然公園を利用した農作物の直売会や農政センターでの市民農園養成講座を実施した。 ①直売会開催数 1回(11月)				<b>取組内容</b> ・いずみ地区の3拠点施設連絡会議を開催する。 ①連絡会議開催回数 2回 ・野呂地区での催しや講座を実施する。 ①直売会開催回数 1回	

#### 施策27-農とふれあう機会の充実(市民農園・体験農園・観光農園) 主担当:農政課、農業経営支援課

数値目標	現状 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(17) 市民農園・農業体験農園数	35箇所	37箇所			44箇所	84.1%
(18) 観光農園バリアフリートイレ設置数	7箇所	9箇所			11箇所	81.8%
主要事業	27年度の取組状況			評価	28年度以降の取組内容	
32 市民農園等の整備及び利用の促進  <計画期間の取組内容> 市民が気軽に農業に親しめる場を提供するため、市民農園・農業体験農園・観光農園の整備を促進するとともに、市ホームページ、市政だよりによるPRに加え、市民農園養成講座の開設及び動画配信により、市民農園等の利用を促進します。	<b>取組状況</b> ・民間事業者による稲毛区での市民農園の開設を支援した。 ・農園開設を希望する地権者からの相談に応じ、開設に必要な条件を説明した。 ・市民農園養成講座を開催し、市民農園利用者の確保を促進した。  ・観光農園の利便性を向上するため、身障者用トイレを整備した。 ①身障者用トイレ整備数 1件			B	<b>取組内容</b> ・市民農園が少ない地域での新たな農園開設を支援する。 ・新たな利用者を確保するため、利用率の低い農園に野菜作りのアドバイザーを派遣し、講習会を開催する。 ・市民農園養成講座を開催し、市民農園利用者の確保を促進する。	

施策28—教育現場での農業の活用 主担当:農業経営支援課

数値目標	現状 (25年度末)	実績 (27年度)	実績 (28年度)	実績 (29年度)	目標 (29年度)	達成率
(19) ワークショップの開催数	8回/年	9回/年			10回/年	90.0%
主要事業	27年度の実績			評価	28年度以降の取組内容	
<p>33 小中学生が農業と親しむ機会の創出</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; いずみ地区の自然環境・歴史・伝承文化等の地域資源を伝えるため、次代を担う地域の小中学生を対象に、ワークショップを行います。また、いずみ地区の魅力を広く知ってもらうため自然観察会、歴史探索会などを実施します。</p>	<p><b>取組状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いずみ地区内の自然・歴史・文化・景観等の地域資源を活かし、地域の中学生（総合学習）を対象にワークショップを開催した。</li> <li>①更科中学校 歴史調査 3回</li> <li>②白井中学校 歴史調査 6回</li> </ul>			B	<p><b>取組内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いずみ地区内の中学生を対象とした総合学習でワークショップを開催する。</li> <li>①更科中学校 歴史調査 3回</li> <li>②白井中学校 歴史調査 6回</li> </ul>	

施策29—情報の提供 主担当:農政課

主要事業	27年度の実績	評価	28年度以降の取組内容
<p>34 市民への情報発信</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 「農とふれあう場」を提供するため、農に親しみたい人へ、積極的に旬の情報や各種イベント情報等を提供します。</p>	<p><b>特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市ホームページにロゴや写真を効果的に活用し、見やすい工夫を凝らした。</li> <li>各種メディアの担当者への情報提供を積極的に行い、地域の広報誌等に記事を掲載できた。</li> </ul> <p><b>取組状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作物の季節に合わせ、市政だよりの活用や市ホームページの適宜更新により、情報を発信した。</li> <li>①市政だよりで掲載記事数 33件</li> <li>②市ホームページの更新回数 14回</li> <li>記者への記事投げ込みを積極的に行い、各種メディアを通じ情報発信につなげた。</li> <li>①投げ込み回数 10回</li> </ul>	A	<p><b>課題(Cの場合)</b></p>
			<p><b>取組内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市政だよりの活用、市ホームページの適宜更新により、情報を発信する。</li> <li>記者への記事投げ込みを積極的に行い、各種メディアを通じ情報発信につなげる。</li> </ul>

8 農村環境の整備と保全

施策30—快適な農村環境の整備 主担当:農政課

主要事業	27年度の実績	評価	28年度以降の取組内容
<p>35 農村の水環境の保全</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 農業生産の向上、公共用水域の水質保全を図るため、農業集落排水事業を継続します。</p>	<p><b>取組状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆとりと潤いのある場として利用されている水環境施設（親水施設）の維持管理を行った。</li> <li>①杉山地区 1.2ha</li> <li>②大池地区 2.2ha</li> </ul>	B	<p><b>取組内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゆとりと潤いのある場として利用されている水環境施設（親水施設）の維持管理を行う。</li> <li>①杉山地区 1.2ha</li> <li>②大池地区 2.2ha</li> </ul>

施策31－美しい農村景観づくり 主担当：農業生産振興課

主要事業	27年度の取組状況	評価	28年度以降の取組内容
<p>36 景観形成作物の取組に対する支援</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 都市住民に憩いと安らぎの場を提供するため、ハナナ・コスモス等の景観形成作物に取組む農家に対し、種子を配布します。</p>	<p>☞特記事項(Aの場合),問題点(Cの場合)☞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業に参加する農家、組合が固定化されているとともに、減少傾向にある。</li> </ul> <p>☞取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市住民に憩いと安らぎの場を提供するため、ヒマワリ、コスモス、ハナナ等の景観形成作物の種子を取組農家へ配布した。</li> <li>①取組面積 761a</li> <li>②取組農家・組合数 20戸</li> </ul>	C	<p>☞課題(Cの場合)☞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる景観形成作物の種類など、事業内容の見直しを行う。</li> <li>・新たな参加者の発掘に努める。</li> </ul> <p>☞取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市住民に憩いと安らぎの場を提供するため、ヒマワリ、ハナナ、コスモス等の景観形成作物の種子を取組農家に配布する。</li> <li>①取組面積 1,000a</li> </ul>

施策32－集落機能の維持 主担当：農政課

主要事業	27年度の取組状況	評価	28年度以降の取組内容
<p>37 集落保全活動の維持・支援</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の活動に参加する組織に対して支援を行うとともに、新たな活動組織の掘り起しを行います。</p>	<p>☞取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6地区に対し、活動の継続を支援した。</li> <li>①説明会・意見交換会 2回（7月、1月）</li> <li>②安全研修会 1回（2月）</li> <li>③活動の手引き送付 2回（10月、1月）</li> <li>④現地確認 2回（10～11月、2月）</li> <li>⑤個別相談 随時</li> </ul>	B	<p>☞取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6地区に対し、活動を支援する。</li> <li>・3期目（平成29年度～）の活動に向け、新規活動組織の掘り起しと説明を行う。</li> <li>①活動組織及び新規活動組織説明会</li> <li>②個別相談</li> <li>③現地確認</li> </ul>

施策33－有害鳥獣対策の推進 主担当：農業生産振興課

主要事業	27年度の取組状況	評価	28年度以降の取組内容
<p>38 有害鳥獣対策の支援</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 安定した農産物生産を実現するため、ハクビシン・イノシシ・カラス等の有害鳥獣対策を支援します。</p>	<p>☞取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種対策に係る経費を助成した。</li> <li>①助成対象</li> <li>ハクビシン捕獲活動（市内全域） 箱わな設置 23基 巡回 81回</li> <li>イノシシ捕獲活動（緑区） 箱わな設置 3基 巡回 66回</li> <li>電気柵設置 984m</li> <li>カラス追い払い対策（市内全域） 追い払い器具（鳥よけ黒糸）10巻購入</li> </ul>	B	<p>☞取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市鳥獣被害防止計画に基づき、千葉市鳥獣被害防止対策協議会で取り組むハクビシン、イノシシ及びカラスの被害防止対策の活動経費を助成する。</li> </ul>

9 健全な森林づくりの推進

施策34－優良な森林の整備推進 主担当：農業経営支援課

主要事業	27年度の取組状況	評価	28年度以降の取組内容
<p>39 市森林整備計画の実行・推進</p> <p>&lt;計画期間の取組内容&gt; 適切な森林整備を推進するため、市森林整備計画に基づく各種事業を実施します。</p>	<p>☞取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営計画の策定に向けて森林所有者と協議した。</li> <li>①説明会開催（11月）</li> </ul>	B	<p>☞取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営計画の認定を支援する。</li> <li>①森林経営計画認定数 1件</li> </ul>

施策35—価値ある森林づくりの推進 主担当:農業経営支援課

主要事業	27年度の実績状況	評価	28年度以降の実績内容
<p>40 森林の適正管理及び木材利用の推進</p> <p>&lt;計画期間の実績内容&gt; 森林環境を保全するため、間伐や枝打ち、下草刈等を促進するとともに、ボランティア団体の活動を支援します。また、循環型社会の形成、林業・木材産業の振興、森林再生を促進するため、県内産の木材利用を推進します。</p>	<p>△実績状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備事業に対して助成した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①造林 2.2ha</li> <li>②下刈 29.8ha</li> <li>③枝打 2.7ha</li> <li>④間伐 0.3ha</li> <li>⑤間伐材搬出 8.0m<sup>3</sup></li> </ul> </li> </ul>	B	<p>△実績内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>森林整備事業に対して助成する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①造林 1.5ha</li> <li>②下刈 16.0ha</li> <li>③枝打 2.30ha</li> <li>④間伐 0.8ha</li> </ul> </li> </ul>

施策36—森林病虫害対策の推進 主担当:農業経営支援課

主要事業	27年度の実績状況	評価	28年度以降の実績内容
<p>41 被害森林再生・資源循環促進事業への支援</p> <p>&lt;計画期間の実績内容&gt; 病虫害や気象災害による被害林の再生及び資源循環促進のため、各種事業に取り組む森林組合等に対し支援します。</p>	<p>△実績状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被害を受けた森林の被害木の伐倒等に助成した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①伐倒搬出 0.1ha</li> <li>②造林 0.7ha</li> </ul> </li> </ul>	B	<p>△実績内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被害を受けた森林の被害木の伐倒等に助成する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①伐倒搬出 0.5ha</li> <li>②造林 0.5ha</li> <li>③被害材運搬 30m<sup>3</sup></li> </ul> </li> </ul>

10 森林にかかわる人づくりの推進

施策37—森林への関心の向上 主担当:農業経営支援課

主要事業	27年度の実績状況	評価	28年度以降の実績内容
<p>42 林業体験教室の実施</p> <p>&lt;計画期間の実績内容&gt; 森林の持つ機能や役割について理解を広めるため、間伐材等を利用した工作物の制作や管理技術の講習会などを開催します。</p>	<p>△実績状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県森林組合及び千葉県北部林業事務所印旛支所を講師とした森林管理技術の講習や間伐材を利用した木工教室を実施した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①参加者数 7人</li> </ul> </li> </ul>	B	<p>△実績内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千葉県北部林業事務所印旛支所、千葉県森林整備協会、千葉県森林組合と協力し、林業体験教室を実施する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①募集人数 20人</li> </ul> </li> </ul>

施策38—森林ボランティアの育成と活動の支援 主担当:農業経営支援課

数 値 目 標	現 状 (25年度末)	実 績 (27年度)	実 績 (28年度)	実 績 (29年度)	目 標 (29年度)	達 成 率
(20) 森林ボランティア数	172人	187人			187人	100.0%
主 要 事 業	27年度の実績状況			評 価	28年度以降の実績内容	
43 森林ボランティア活動の支援  <計画期間の実績内容> 森林で活動を行うボランティア団体を支援するため、技術研修や団体相互の交流機会を設けるとともに、活動状況の情報発信等を行います。	<b>取組状況</b> ・各種研修会を開催した。 ①技術研修会(2回)のべ12人 ②安全研修会(1回)39人 ③ことぶき大学研修会(2班×3回)のべ143人 ・森林ボランティア団体に対して千葉市里山の保安全管理団体報奨金を交付した。(20円/㎡ 限度額200千円/団体) ①交付団体数 2団体			B	<b>取組内容</b> ・研修会、交流会等で森林ボランティア活動を支援する。 ①技術研修会 ②安全研修会 ③ことぶき大学研修会 ・森林ボランティア団体に対して千葉市里山の保安全管理団体報奨金を交付する。	

施策39—森林所有者の組織の育成と強化 主担当:農業経営支援課

主 要 事 業	27年度の実績状況	評 価	28年度以降の実績内容
44 森林組合の育成強化  <計画期間の実績内容> 森林整備の中心的担い手である森林組合の健全な運営のため、森林組合及び林業の担い手の活動を支援します。	<b>取組状況</b> ・森林組合が実施する森林整備事業(造林等)に対して助成した。 ・森林組合の組織強化対策に対して助成した。 ①作業班育成強化事業(作業班の設置に必要な会議開催等への助成) 54千円 ②広報宣伝事業(林業等に係る情報収集及び啓発活動への助成) 27千円 ③執行体制強化事業(林業技術員の設置に係る助成) 1,320千円	B	<b>取組内容</b> ・森林組合が実施する森林整備事業(造林等)に対して助成する。 ・森林組合の組織強化対策に対して助成する。 ①作業班育成強化事業 54千円 ②広報宣伝事業 27千円 ③執行体制強化事業 1,320千円

11 森林の多面的機能の活用

施策40—里山地区の保全 主担当:農業経営支援課

主 要 事 業	27年度の実績状況	評 価	28年度以降の実績内容
45 里山づくりの推進  <計画期間の実績内容> 里山の有する多面的機能の維持増進及び景観を保全するため、企業や多様な人々の参画による保全活動を支援します。	<b>取組状況</b> ・里山地区4か所について森林ボランティア団体などの協力により、保全活動を行った。 ①保全活動実施日数 175日 ・里山地区がない花見川区・中央区・稲毛区内での指定を検討し、接道や管理ボランティアの確保等の課題を整理した。	B	<b>取組内容</b> ・里山地区4か所のの保全活動を行う。 ・現在市の緑化施策に位置付けられている山林の中で里山地区への移行が可能な区域を調査するなど、関係課の協力を得ながら候補地を検討する。



施策41－森林と農業の連携 主担当:農業経営支援課

主要事業	27年度の実績状況	評価	28年度以降の実績内容
<p>46 農業と連携した森林機能の活用</p> <p>&lt;計画期間の実績内容&gt; 森林機能の活用を図るため、里山地区周辺の観光農園などと連携し、農業とのコラボイベントに取り組みます。</p>	<p>△実績状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民を対象とした「森林ボランティア技術研修会」を富田都市農業交流センターにて行い、農業と林業の連携を図った。</li> <li>①研修会参加数 6人</li> </ul>	B	<p>△実績内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山地区「いずみの森」および富田都市農業交流センターにおいて、「森林ボランティア技術研修会」を開催する。</li> <li>①研修会募集人数 20人</li> <li>・「いずみの森」において下草刈りの実習、富田都市農業交流センターにおいて敷地内の植林地を利用した研修を行う。</li> </ul>

施策42－教育の森と市有林の活用 主担当:農業経営支援課

主要事業	27年度の実績状況	評価	28年度以降の実績内容
<p>47 市有林等活用事業の充実</p> <p>&lt;計画期間の実績内容&gt; 森林の多面的機能を活用するため、県で認定する教育の森並びに市有林を活用し、ボランティア団体による森林整備や、交流の場の創出を促進します。</p>	<p>△実績状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おぐらの森」における市民主催による秋の里山観察会・体験会の開催を支援した。</li> <li>①観察・体験会開催数 2回</li> <li>②参加人数 のべ42人</li> </ul>	B	<p>△実績内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おぐらの森」以外の里山地区でもボランティア育成研修会やイベント等が開催できるよう支援する。</li> </ul>